

令和5年度第3回理事会議事録

議事録作成者：松谷昌典

1 日 時：令和5年7月5日（水） 19：00～22：00

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、高井隆義、実島可斉、田中彰子、花田祥之、杉本好二、
菅生桃子、福島政幸、小野琢司、芦崎高志、遠藤健太

※理事総数：15名、本日の出席理事11名

※理事の伊差川浩之、三浦重則、寺門浩之、關本正志は都合により欠
席した

【監事】辻恵、安原徹

※監事総数：2名、本日の出席監事2名

【陪席】武井風（福井県理事長）、松谷昌典（事務局長）

理事の高井隆義、実島可斉、田中彰子、花田祥之、杉本好二、菅生桃子、福島政幸、小野琢司、芦崎高志、遠藤健太は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会 定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定 足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審 議に入った。

5 議 事

第1号議案：2026年FISU世界選手権パワーリフティング大会開催断念について（常務会決定の承認）

2026年FISU世界選手権パワーリフティング大会誘致について、関係各所と協議の結果、辞退申し入れすることに至った。主な要因は、諸外国と日本の大学運営の違いや、OCが回収できる料金の上限規制などから応募が困難で、誘致を断念せざるを得ないものであった。入札が本年10月に予定されており、IPFのFISU担当者へは速やかに連絡する必要があったため、6月19日常務会決定ののち、同26日NUS

Fと緊急の会議を経て、同27日にIPFへ文書で辞退を申し入れた経緯である。審議の結果、常務会決定は出席理事全員一致で承認された。

第2号議案：加盟団体のガバナンス強化について（常務会決定の承認）

補助金を受けて事業実施した大会の主管協会において、ガバナンス不良が原因と捉えられる作業遅延事案が発生した。現在のところ助成事業者への報告処理は適正に行ったが、今回の事例を基に、①今後のJPA主催の大会開催については、運営及び決算報告等の仕方をルール化し、主催者と主管協会間で契約書を締結して進めるものとする。さらに、②今後の1期2年をかけて、地方協会の健全性確保及び全県スポ協加盟のためにも、毎年度の事業計画、予算、事業報告、決算の提出を求める。改めて事故や訴訟等のない組織造りに向けてガバナンス向上策を促進する。また、③努力目標として、国体正式加盟に向けスポーツ協会未加盟協会へ加盟促進を行う。なお、加盟団体協会の金融機関口座名は団体名のものに統一することと、法人格取得のために都道府県協会の約款モデルを提示する。審議の結果、上記①至③について出席理事全員一致で承認された。

第3号議案：日本グランプリ大会のWエントリーの定義について

日本グランプリの開催主旨は、「可能な限りチャンピオンに出場機会を与える」ことから、「1人の選手は1つの競技・1つのカテゴリーにしか出場出来ない」と定義する。具体的な例として、1人の選手が“オープンベンチフルギアに出場すれば、他のノーギア、マスターズ、3種目競技には出場出来ない”こととする。審議の結果、本定義は出席理事全員一致で承認された。

第4号議案：北海道アジアベンチ、パンフレット業者について

2社見積もりの結果、メダルは齋藤工芸店（東京都協会が利用実績あり）が安価であること、印刷業者は福琉印刷（沖縄）が安価でデザイン等も無料で引き受けが可能であることから、2社が提案された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第5号議案：福井県ジャパクラシックマスターズパワー準備について

武井福井県理事長より準備状況の報告がなされた。本大会は助成金事業でなく、選手参加費での審判及び補助員の旅費宿泊費支弁は不可能である。また、福井県協会は2面開催分の器具類を保有しておらず、事業実施に必要な大会器具の不足がみられた。参加費で支弁できない器具準備費用30万円強について、今後の北信越ブロック発展を考慮し、JPAにおいて購入することが提案された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第6号議案：国際派遣選手団の承認及び追認

- (1) 2023年6月23日至30日に香港特別行政区で開催されるアジアパシフィックパワー&ベンチ大会の選手団追認
- (2) 2023年6月11日至17日にマルタ共和国ヴァレッタ市で開催される世界クラシックオープンパワー大会の選手団追認
- (1) 及び (2) の国際大会について、選手団名簿が議場に提出された。審議の結果、出席理事全員一致で追認された。

第7号議案：一部の国際派遣選手における規律上の問題について

団長報告を受け、「団体行動を乱す行動が一部選手にあった」ことを受けて、国際大会での日本チーム要員として各自が果たす役割、競技中のサポート体制等の具体的事項を定めた行動規範を作成することが提案された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。なお、該当する一部の選手については、今後の抑止効果を勘案して倫理委員会開催等のアクションをとるものとする。

第8号議案：マルタ世界選手権大会派遣者への助成金支出基準修正について

本大会派遣者には助成金適用が決定しており、前回理事会にて支出基準が承認されたが、派遣に際して欠員が出たことを受けて、助成金を選手に割り振って還元する処理を行うことが検討された。これには支出基準の変更を必要とする。審議の結果、支出基準の修正案は出席理事全員一致で承認された。

第9号議案：定款変更に伴う規程類の引用条項変更

定款変更に伴い、各規程において定款引用項のズレが起こったため、項数の修正を行う。修正する規程は以下の通りである。

- ・役員・職員倫理規程
- ・事務局規程
- ・常務会規程
- ・弔慰見舞金規程
- ・表彰規程
- ・旅費及び諸謝金規程
- ・倫理委員会規程
- ・利益相反ポリシー

審議の結果、規程改訂は出席理事全員一致で承認された。

第10号議案：賛助会員規程改訂の承認

令和4年11月22日理事会において賛助会員の在り方が見直された。根拠規程である賛助会員規程改訂が議場に諮られた。優遇措置を廃止し、純粋にパワーリフティング競技に対し金銭面で支援しようとする団体等が入会する内容に改められた賛助会員規程案は、出席理事全員一致で承認された。

第 11 号議案：アスリート委員会提案事項

- (提案事項 1) 6 月 3 0 日に第 1 回アスリート委員会を開催し、委員長に阿久津氏が、副委員長に大久保氏が就任したこと報告がなされた。
- (審議結果) 出席理事全員一致で承認された。
- (提案事項 2) ベンチプレス判定の目安として動画を H P に掲載をしてほしい。
- (審議結果) 技術委員会と相談して掲載することで進める
- (提案事項 3) 学連選出委員からの提案として、学生のレフリー資格取得・更新費用の低廉化、大会出場費用の低廉化を検討してほしい。
- (審議結果) レフリー資格の費用低廉化は、受験料を無料とすることで、出席理事全員一致で承認された。大会出場費は収支相償で運営されており、学連運営の管轄として判断する。ただし、ジュニアとサブジュニア大会の出場費の差別化については収支状況を踏まえて、次回理事会までに判断材料を作成することとなった。

その他議案：(1) 国体の出場枠について

経緯があり誤った選考通知をしてしまったブロックが発生した。この事案に対して救済措置をとるか否かが議場に諮られた。公開競技のブロック出場枠設定は各 N F に任されているが、J P A は、あくまでも今後の公平性を勘案して、当初設定したルールに沿うべきとの意見がなされた。審議の結果、救済については行わないこと、出席理事全員一致で承認された。

(2) 2 0 2 3 I P F ユニバーシティワールドカップ参加について

J P A として学校単位の選出基準がなく、学連会長に相談したところ、2 0 2 2 年の学生大会から判断すると合理的ではないかという意見が届いた。今後の選考を考慮すると、学連に判断を委ねることが好ましいという意見がなされた。審議の結果、参加及び参加校の選出は学連一任すること、出席理事全員一致で承認された。

報告事項：(1) 2 0 2 3 年 6 月 2 3 日至 3 0 日に香港特別行政区で開催されたアジアパシフィックパワー&ベンチ大会の報告

佐々木国際副委員長より、出場日本人全員がメダルを獲得し、優秀な成績を収めた報告がなされた。また、二宮技術委員長が国際審判員試験に合格したことの報告がなされた。

(2) ガバナンスコード適合性審査に向けた役割分担

適合性審査に向けて、7 月までに書類を編纂していくが、作成に当たっては、各委員会に補助資料の依頼を行うことがある。書類作成に協力を仰ぎたい。

(3) 職務執行理事の職務状況の報告について

新着任の実島可斉常務理事より、自己の職務状況の報告がなされた。

(4) 次回理事会 8月24日(木) 19時予定

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は22時00分に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和5年7月5日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長
(代表理事)

古城 資久 

監 事

辻 恵 

監 事

安原 徹 